

総括

—国際シンポジウム「パークマネジメントの未来」—

趣旨及び課題の発掘

公園は19世紀の英国に誕生してから世界各地に伝播し、都市形成および市民生活に不可欠の施設として定着してきました。この200年の間に国や地域の歴史や文化、地理的状況、さらには経済的発展段階に応じて多様な展開を見せてきました。今日では都市のインフラストラクチャーとして、健康・長寿社会を実現するために必須の社会資本と認められており、さらなる発展を遂げようとしております。

さて、地球温暖化、高齢社会化、高度情報化、所得・生活・教育水準の格差の拡大、都市構造の国際化、ライフスタイルの高度化・多様化等の大きな変動を受けて世界的に都市の生活環境は大きく変わろうとしております。その中で私たちの生活に安心・安全を保証する公園の果たす役割はより一層重要なものとなると認識されています。公園の魅力を高め、さらなる発展を促すために、伝統的な価値の再評価と新しい価値の創造が同時に求められております。

このたび私たちは、日本における公園緑地行政の先導的な役割を担っている兵庫県の淡路島で開催された国際シンポジウム「パークマネジメントの未来」に集い、魅力ある公園とその経営の在り方を討議しました。次世代につながる新たな公園像を探り、パークマネジメントを通じて公園の価値を最大限に高める方法と、そのための具体的な方法について、真摯に、かつ多面的に討議し大きな成果を得ることができました。全島の公園化を目指すこの地で、私たちは将来に向けての重要な課題を見出し、以下のことを確認出来ました。

講演および討議の論点と合意点

1. 公園は自然効果、社会効果、具体的には総合的な健康効果、減災効果、教育効果、コミュニティ効果、ブランディング効果等幅広い効果を有しており、健康長寿社会実現のために必須で最も効果的な社会資本であることを再確認した。その実現のために公園の価値や機能をさらに多面的かつ重層的に高めることが必要である。
2. 超高齢化社会に到達しつつある日本では世界に先駆けて効果的な公園施策が不可欠である。そのためには魅力ある公園づくりが必須であり、ヘルシーライフスタイル構築への貢献の視点、市民協働・コミュニティ再生の視点、自然と人間が調和する次世代の地域創生の根幹をなすという視点が極めて重要である。
3. その方法として上記視点に基づく諸施策を有機的に連携させ、斬新で効果的なパークマネジメントの構築と実践を継続的に実践し、最高のパークサービスを提供する必要がある。これを兵庫方式として提案し、日本国内はもとより、世界をリードする形で広範に展開する必要がある。
4. このような公園の価値を未来に向かってさらに発展させるため、専門家として調査・研究・交流の諸活動を強化し、新たな取り組みを展開する必要がある。これらの活動を推進するため、広範な連携と交流を図る必要がある。そのため国や地方自治体などの行政実務者はもとより市民、企業、ユーザー、NGO、NPOを含めた幅広い連携が必要である。
5. これらのことを確実に実施するために広範な英知を結集して効果的な検証を行い、市民協働をベースとして継続的にレビュー・再構築を行い、魅力ある地域創生を実現する有力な施策として実践する必要がある。

本日私たちはこれらのことを合意し、これを淡路宣言として取りまとめ、国内はもとより、広く世界に発信することとしました。この宣言の効果的な実施によって、日本の公園政策の最先端を行く兵庫県がパークマネジメントを基幹とした住みよい地域づくりの模範的地方政府となることを希望します。